

生育良好！ 県内トップの「六条大麦」産地 大口町・扶桑町で収穫がピークを迎えます！！

JA愛知北（愛知県江南市／組合長：大藪 泉）の管内、大口町と扶桑町で県内トップの生産量を誇る「六条大麦」が5月中旬～6月上旬に収穫となります。生育は例年通り順調です。

大口町・扶桑町は県内で有数の六条大麦の生産地であり、稲作経営者4名が約80ヘクタールを作付けしています。地産地消の取組として地元企業へ全量販売し、管内産六条麦茶100%使用「六条麦茶」としてティーパックやペットボトル飲料を販売しています。

平成2年ごろまで大口町・扶桑町ではビール麦（二条大麦）を栽培していましたが、収量が安定しませんでした。この地域の土は砂を多く含んでおり、湿気を嫌う六条大麦の栽培に向いているため、平成初期から転換が進みました。平成15年からは企業と契約による栽培が始まっています。

六条大麦は二条大麦と比べて焙煎向きで、主に麦茶用に加工されます。また麦ご飯にも適しており、健康ブームも重なって需要も高まっていることから、徐々に栽培面積を増やしてきました。今年は、例年通り生育は順調で、高品質な六条大麦が収穫できています。



六条大麦の収穫風景



●栽培面積

令和3年産：栽培面積 約80ha

収穫量 約362t（見込み）
（JA愛知北調べ）

●収穫期間

5月下旬からの6月上旬頃までがピーク

大麦は晴れの日が2日程度続かないと収穫ができません。そのため、取材頂く際には担当者までご連絡いただきますよう、お願い申し上げます。



お問い合わせ先（取材の際にはこちらにご連絡ください）

JA愛知北 総合企画部企画課（五島・長谷川・山本）

TEL：0587-50-0008/FAX：0587-55-1675

携帯：090-1726-8709（五島）HP：<http://www.ja-aichikita.or.jp/>

E-mail：koho@aichikita.aichi-ja.or.jp